

アンケートご協力をお願い

日頃から、本市の高齢者保健福祉行政に御理解と御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

横浜市では、横浜市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画・認知症施策推進計画の改定に際し、3年に1度、居宅介護支援事業所の皆様の御意見をお伺いする調査を実施しています。

この調査の結果につきましては、高齢者保健福祉施策を検討する際の重要な基礎資料となりますので、業務ご多用のところお手数をおかけいたしますが、本調査の趣旨を御理解いただき、御協力を賜りますようお願いいたします。

調査の回答については、12月8日(月)までにご回答くださいますよう、併せて御協力をお願いいたします。

なお、調査報告に関する秘密が保持されることと、個々の施設ごとの調査結果を公表するものではなく、サービスごとの横浜市全体の集計結果を公表する予定であることを申し添えます。

貴事業所の概要についてお伺いします。

問1 貴事業所のお名前、介護保険事業所番号等をご記入ください。

事業所名		介護保険 事業所番号																	
------	--	---------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

令和7年10月1日現在のことについてお伺いします。

問2 同一の建物内又は敷地内で行っている事業は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 訪問介護	25. 特定施設入居者生活介護
2. 横浜市訪問介護相当サービス	26. 介護予防特定施設入居者生活介護
3. 横浜市訪問型生活援助サービス	27. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
4. 訪問入浴介護	28. 地域密着型通所介護
5. 介護予防訪問入浴介護	29. 夜間対応型訪問介護
6. 訪問看護	30. 認知症対応型通所介護
7. 介護予防訪問看護	31. 介護予防認知症対応型通所介護
8. 訪問リハビリテーション	32. 小規模多機能型居宅介護
9. 介護予防訪問リハビリテーション	33. 介護予防小規模多機能型居宅介護
10. 居宅療養管理指導	34. 認知症対応型共同生活介護（グループホーム）
11. 介護予防居宅療養管理指導	35. 介護予防認知症対応型共同生活介護（グループホーム）
12. 通所介護	36. 地域密着型特定施設入居者生活介護
13. 横浜市通所介護相当サービス	37. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
14. 通所リハビリテーション	38. 看護小規模多機能型居宅介護
15. 介護予防通所リハビリテーション	39. 介護老人福祉施設
16. 短期入所生活介護	40. 介護老人保健施設
17. 介護予防短期入所生活介護	41. 介護医療院
18. 短期入所療養介護	42. 病院
19. 介護予防短期入所療養介護	43. 診療所
20. 福祉用具貸与	44. 薬局
21. 介護予防福祉用具貸与	45. 有料老人ホーム・軽費老人ホーム・養護老人ホームなど (介護保険外)
22. 特定福祉用具販売	46. 配食（食事）サービス
23. 特定介護予防福祉用具販売	47. 送迎（移送）サービス
24. 住宅改修	48. 介護保険外の宿泊サービス
	49. その他
	50. 上記の事業は行っていない

職員、人材確保、処遇等についてお伺いします。

問3 令和7年10月1日時点の貴事業所の職員数についてご記入ください。

職員数とは、貴事業所が実施する全ての事業に従事する者（正規・非正規職員問わず）の在籍者総数です。また、職員の市内在住状況を教えてください。

ただし、派遣労働者、委託業務従事者は含みません。該当者がいない場合は空白で結構です。

注1) 資格ではなく、従事している仕事(職種)に着目して入力してください。

なお、兼務している職員については、主として従事する仕事(職種)にのみ入力してください。

注2) 正規職員・非正規職員とは

正規職員(雇用している労働者で雇用期間の定めのない者)

非正規職員(正規職員以外の労働者(契約、嘱託、パートなど))

職種別（下記の職種のみ）（注1）	正規職員（注2）	非正規職員（注2）
①ケアマネジャー	人	人
②その他職員	人	人
職員総人数 正規職員：市内在住（ ）人、市外在住（ ）人 非正規職員：市内在住（ ）人、市外在住（ ）人		

問4 貴事業所では、ケアマネジャーの過不足の状況はいかがですか。（○はひとつ）

「不足」とは、募集を必要としていることを指します。

	大いに不足	不足	やや不足	適当	過剰	当該職種はいない
ケアマネジャー	1	2	3	4	5	6



問4で1～3と回答した方にお伺いします。

問4-1 不足している理由はどれですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 採用が困難である	3. 事業拡大によって必要人数が増大した
2. 離職率が高い（定着率が低い）	4. その他（ ）

全ての方にお伺いします。

問5 スポットワーク等（短時間・単発の就労や有償ボランティア）の受入れについてどのように考えていますか。（○はひとつ）

1. すでに受け入れている	4. 必要ではない
2. 活用に向けて検討している	5. わからない
3. 必要だと思うが、具体的な検討などはしていない	

問6 スポットワーク等（短時間・単発の就労や有償ボランティア）について、どのようなイメージを持っていますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 柔軟に人材を確保できる	5. 人材の質にばらつきがある
2. 急な欠員に対応できる	6. 教育・研修に時間がかかる
3. 採用コストを抑えられる	7. 職員との連携や利用者とのコミュニケーションが取りづらい
4. 働き方改革につながる	8. イメージがわからない

問7 貴施設で採用しているスポットワーク等の働き方について教えてください。

（あてはまるものすべてに○）

1. 直接雇用の短時間勤務者	5. 雇用仲介アプリを使ったスキマバイト
2. 直接雇用の単発バイト	6. ギグワーク（業務委託契約した単発の仕事）
3. 人材派遣	7. その他（ ）
4. 有償ボランティア	8. スポットワーク等を活用していない

問8 『介護助手』の受入れについてどのように考えていますか。（○はひとつ）

1. すでに受け入れている	4. 必要だと思うが、具体的な検討などはしていない
2. 受け入れる準備をしている	5. 必要ではない
3. 受け入れるかの検討をしている	6. わからない

居宅介護支援事業の状況についてお伺いします。

問9 地域の住民活動や介護保険外のサービス等に関する地域資源を把握するために活用しているものがあれば教えてください。（あてはまるものすべてに○）

1. ヨコハマ地域活動・サービス検索ナビ	7. 自治会・町内会との情報交換
2. ふくしらべ	8. 民生委員・児童委員との情報交換
3. 地域ケアプラザとの情報交換	9. 区役所との情報交換
4. 市社会福祉協議会との情報交換	10. その他（ ）
5. 区社会福祉協議会との情報交換	11. 特に活用しているものはない
6. 地区社会福祉協議会との情報交換	

問 10 貴事業所の運営上の課題についてお伺いします。（あてはまるものすべてに○）

- | |
|--|
| 1. 今の介護報酬では、人材の確保・定着のために十分な賃金を払えない |
| 2. 経営（収支）が苦しく、労働条件や労働環境改善をしたくても出来ない |
| 3. 新規利用者の獲得が困難 |
| 4. ケアマネジャーの教育・研修の十分な時間がとれない |
| 5. 困難事例が多い |
| 6. 利用者からの苦情への対応 |
| 7. 地域包括支援センター（地域ケアプラザ）との連携がうまく行っていない（予防給付の受け入れ等） |
| 8. 区・市との連携がうまく行っていない |
| 9. サービス事業所との連携がうまくいっていない |
| 10. 医療機関との連携がうまくいっていない |
| 11. 介護保険の改正等についての的確な情報や説明が速やかに得られない |
| 12. サービス提供事業所やインフォーマルサービスに関する情報が入手できない |
| 13. 主任ケアマネジャーが確保できない |
| 14. その他（具体的に |
| 15. 特に問題はない |

各種サービス利用についてお伺いします。

問 11 介護医療院への入所を調整した際に、満床で入所できなかったことはありますか。

（○はひとつ）

- | | |
|------------|------------|
| 1. あ る | 2. な い |
|------------|------------|

ご協力ありがとうございました。